



# 女子学生キャリアデザインセンター (JCDセンター)の活動

広島工業大学 工学部 建築工学科:女子キャリアデザインセンター長  
教授 福田 由美子



## はじめに

少子高齢化、人口減少の時代を迎え、女性技術者への社会的ニーズは高まりつつあります。従前、男性が担当していた業務を女性が担うケースも増えてきており、その際、女性が男性とは異なる資質として備えている感覚や行動力を活かす視点は、益々重要になってくると考えられます。そのような社会背景のもと、2007年1月1日に、女子学生キャリアデザインセンター(略称JCDセンター)は設立されました。

その趣旨が評価され、JCDセンターの活動は、2007年度文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に採択されました。これまでその支援の中で活動を展開してきましたが、2011年3月で4年間の支援事業は終了いたしました。当センターの骨格となるべき活動は、この間に確立してきたと言えます。

以下に、これまでのJCDセンターの活動の概要を紹介します。当センターの活動は、女子学生の入学から就職・卒業までの支援はもとより、卒業後までも視野に入れた支援を大きな特徴としています。具体的には、女性技術者のライフステージに対応する形で、1)キャリア形成支援、2)就業支援、3)再チャレンジ支援、という3つの柱で活動を位置づけています。

## キャリア形成支援

世に出て活躍しうる女性技術者を育成するために、学生たちが自ら考え行動することを意図し、多種多様な自主的活動の場を設定しました。いくつ

かの事例を紹介します。

「**トップランナー講演会**」:システムエンジニアや女性研究者、アーティストや女性経営者など、各業界で活躍する方を講師として招きました。女子学生に働くことの意義と志を持たせる講演会です。

「**サマーセミナー**」:沼田校舎に1泊し、TAP(Tsuru Adventure Program)やOG懇談会、夕食作りなどをを行います。共同生活・共同作業を通じて、先輩(縦の繋がり)や新しい仲間(横の繋がり)との親睦を深めます。また、学生幹事がセミナーの企画・運営を行うことにより、幹事自身の成長につなげます。



「**JCD PRESSの発刊**」:年2回、JCDセンターの機関誌を発行しています。記事は、学生が企画・立案し、彼女達が企業との取材交渉を進めながら並行して編集作業を行います。上級生がそれぞれ下級生を指揮指導することでの相乗効果も期待しています。

「**ラジオ番組の企画・制作**」:[FMはつかいち]で3ヶ月間、30分の番組を担当しています。本学教員や学外からゲストを招いてインタビューをするなど、学生たちが12回分の放送プログラムを企画し、実際にパーソナリティを務めます。社会に出る前に企業人や市民との交流をすることにより、働くことを意識させ、また自身のキャリアプランについての意識づけにもなっています。さらに、「受け手に伝わる話し方」や「正しい言葉遣い」の訓練の場にもなります。



「**出張理科実験**」:幼稚園児から理科を好きになってもらおうと、学生幹事の1・2年次生がプロジェクトチームを結成。



本学の学生自主企画プログラム「HITチャレンジ」の支援を受けながら、活動を実施してきています。毎年、新しい実験を自分たちで発案し、幼稚園児や小学生を対象に、出張実験を行います。この活動を通して、学外でプログラムを実施することの責任感や子どもを巻き込む創意工夫の力、そして学科を超えての仲間意識などが育っています。

これらの他にも、在学生在が新入生のために講演会やウェルカムパーティを企画する「新入生歓迎セミナー」、地域の店舗のリニューアルを専門家と一緒にデザイン・施工した「学外活動」、就業者の女性比率が高い業種における特定のスキルを磨く「女性技術者特別講習」、中国新聞社の「キャンパスリポーター」への登録などの、女子学生のキャリアアップに繋がる活動を行っています。

## 就業支援

女子学生の希望する企業への就職を支援するとともに、女性技術者の受け入れ環境を整えた優良企業を開拓していくことを目的としています。

例えば、毎年本学が広島と大阪で開催する企業懇談会に合わせる形で、

女性技術者が活躍する可能性のある企業を対象に、「女性の就業環境の調査ならびに企業との意見交換会」を、計6回実施しました。座談会形式で、女性社員と男性社員の職業意識の違いや管理職候補としての女性社員の可能性、カムバック制度等の整備状況などについて、忌憚のない意見をいただくことができました。

その他にも、企業の新人研修担当者による「マナーアップ講座」や、企業の技術や人事担当者を招いての「業界勉強会」などを実施しています。これらは、社会人としての基礎知識、業界の特徴、採用者の視点など、女子学生が本当に知りたいこと、不安に感じていることを、勉強する機会となっています。

## 再チャレンジ支援

結婚や出産のため離職を余儀なくされた卒業生の再チャレンジを支援していくことを目指しています。

まず、卒業生にJCDセンターを知ってもらおうこと、また、本学の女性の卒業生の卒業後の動向を把握すること、さらには再就職のニーズを探ることを目的に、卒業生のキャリアパス調査を実施しました。その結果、卒業後5年までの卒業生は、卒業時のキャリアをそのまま発展・継続している場合が多い一方で、卒業後11年から15年の卒業生では、結婚・出産による離職を余儀なくされるケースが増加していることがわかりました。また、再チャレンジを希望する卒業生に対して、本学就職部が所

有するデータベースを活用して、再就職を支援する人材バンクシステムを構築し、JCDセンター内に人材バンク支援窓口を設けました。

また一方で、何らかの理由でキャリアを中断せざるを得なくなった卒業生に対し、技術系への再就職を可能にするスキルアップ再教育プログラムを提供するため、自学自習が可能なe-ラーニング教育システムの構築にも取り組みました。

## 今後に向けて

以上のように、JCDセンターは4年間の取り組みを通して、本学の在学生在や卒業生を対象としたさまざまなキャリア支援のプログラムを蓄積してきたと同時に、近隣の大学や企業、一般市民に対しても、女性が活躍する社会づくりに向けて、メッセージを発信してきました。

これまでがJCDセンターの初動期であったとするならば、次のステップは定着期と位置づけられます。女性の働く意欲の啓発や女性技術者の就労環境の改善などは短期間で成果が出るようなものでなく、また近年の社会状況の低迷やそれにとまじり就職環境の厳しさもあり、技術系女子学生の活躍の道が拓けたという状況にはまだまだ至りません。

活動の基本方針等は継承しながらも、活動をさらに工夫改善していく必要があると考えています。今後も継続して、学内外の関係諸機関と連携をとりながら、女性技術者支援に取り組んでいく所存です。引き続き、ご指導、ご支援のほど、よろしくお願い致します。